

独立役員届出書

1. 基本情報

会社名	リファインバース株式会社		コード	6531
提出日	2020/9/14		異動（予定）日	2020/9/30
独立役員届出書の提出理由	定時株主総会に社外役員の選任議案が付議されるため。 独立役員である社外取締役 布施木孝淑氏が退任するため。			
<input type="checkbox"/> 独立役員の資格を充たす者を全て独立役員に指定している（※1）				

2. 独立役員・社外役員の独立性に関する事項

番号	氏名	社外取締役／社外監査役	独立役員	役員の属性（※2・3）												異動内容	本人の同意
				a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	該当なし	
1	鮫島 韶	社外取締役	○													○	有
2	関口 修一	社外取締役														○	
3	片岡 敬三	社外監査役														○	
4	丸吉 龍一	社外監査役	○													○	有

3. 独立役員の属性・選任理由の説明

番号	該当状況についての説明（※4）	選任の理由（※5）
1	2004年10月から2009年12月まで鮫島直が代表取締役社長であるニュー・フロンティア・パートナーズ株式会社（現AGキャピタル株式会社）に対しコンサルティング契約を締結しておりましたが、現在は解消しております。従って、一般株主との間に利益相反が生じるおそれは無いと判断しております。	企業経営における豊かな経験と高い見識に基づき、客観的で広範かつ高度な視野から当社の企業活動に助言をいただけることから、当社の社外取締役として適任と判断しております。また同氏と当社の間では現在、特別な利害関係はなく、一般株主との利益相反が生ずるおそれが無いと考え、独立役員に指定しております。なお、過去のニュー・フロンティア・パートナーズ株式会社（現AGキャピタル株式会社）へのコンサルティング報酬は軽微なものであったため、独立役員としての基準には抵触しないものと判断しております。
2		
3		
4	社外監査役である丸吉龍一は、2012年より2014年までの間、当社会計顧問を務めておりましたが、2014年9月の監査役就任とともに当該顧問契約を解約しております。従って、一般株主との間に利益相反が生じるおそれは無いと判断しております。	公認会計士として財務及び会計に係る豊富な経験と知識を有しており、また過去において一時的に当社の会計顧問を務めていた経験から、当社業務並びに会計実務についても精通しており、適切な助言をいただけることから、当社の社外監査役として適任と判断しております。また、同氏との間では現在、特別な利害関係は無く、一般株主との利益相反が生ずるおそれが無いと考え、独立役員に指定しております。なお、過去の会計顧問としての報酬は軽微なものであったため、独立役員としての基準には抵触しないものと判断しております。

4. 補足説明

--

※1 社外役員のうち、独立役員の資格を充たす者の全員について、独立役員として届け出ている場合には、チェックボックスをチェックしてください。

※2 役員の属性についてのチェック項目

- a. 上場会社又はその子会社の業務執行者
- b. 上場会社又はその子会社の非業務執行取締役又は会計参与（社外監査役の場合）
- c. 上場会社の親会社の業務執行者又は非業務執行取締役
- d. 上場会社の親会社の監査役（社外監査役の場合）
- e. 上場会社の兄弟会社の業務執行者
- f. 上場会社を主要な取引先とする者又はその業務執行者
- g. 上場会社の主要な取引先又はその業務執行者
- h. 上場会社から役員報酬以外に多額の金銭その他の財産を得ているコンサルタント、会計専門家、法律専門家
- i. 上場会社の主要株主（当該主要株主が法人である場合には、当該法人的業務執行者）
- j. 上場会社の取引先（f、g及びhのいずれにも該当しないもの）の業務執行者（本人のみ）
- k. 社外役員の相互就任の関係にある先の業務執行者（本人のみ）
- l. 上場会社が寄付を行っている先の業務執行者（本人のみ）

以上のa～lの各項目の表記は、取引所の規則に規定する項目の文言を省略して記載しているものであることにご留意ください。

※3 本人が各項目に「現在・最近」において該当している場合は「○」、「過去」に該当している場合は「△」を表示してください。
近親者が各項目に「現在・最近」において該当している場合は「●」、「過去」に該当している場合は「▲」を表示してください。

※4 a～lのいずれかに該当している場合には、その旨（概要）を記載してください。

※5 独立役員の選任理由を記載してください。